



とねっ子だより

笑顔とやさしさが溢れる利根小学校

9月

利根町立利根小学校
学 校 通 信
第 6 号
令和8年9月1日発行

大きな事故やケガもなく、児童が元気に登校し、学校に明るい笑顔と活気が戻ってまいりました。まだまだ暑い日が続きますが、保護者の皆様・地域の皆様には、今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

夏休み明け集会、学校長講話より(抜粋)

夏休みに入る前に、校長先生が皆さんにお願いしたことを覚えていますか？
「頭と体と心の栄養をたくさんとって、大きく成長してください。」というお願いでしたね。皆さんは、この夏休み、たくさん栄養をとりましたか？
それでは、校長先生がこの夏休みにとった「心の栄養」のお話をします。
サッカーのワールドカップを覚えていますか？夏休み前に始まって、夏休みに入って数日で終わってしまいましたが、皆さんの中にも観ていた人は多いのではないのでしょうか。この大会で日本の選手だけでなく、どの国の選手もたくさんの素晴らしいプレーを観せてくれましたね。ゴールを狙って華麗にシュートを打つ選手、体を張ってボールを奪い合う選手、懸命にゴールを守る選手、みんなとてもかっこいいですね。皆さんは、どんなプレーがかっこいいと感じますか？
校長先生は、プレー以外にすごくかっこいいなぁと感動したことがありました。それは、日本チームのロッカールームについてのこんな記事です。「日本代表（サムライブルー）のロッカールームは、試合後の徹底的な清掃や折り鶴、感謝のメッセージを残す美しい使い方が毎回国内外で大きな称賛を集めています。」皆さんは、どう感じますか？
校長先生は、めちゃくちゃかっこいいなぁと思いました。試合で勝つことや、華麗なプレーをすることは、誰にでもできることではありません。しかし、日本チームのように、使った場所を美しくすることなどは、あるものさえもっていれば、誰にでもできることです。その、あるものとは何でしょう？それは「思いやりと感謝の気持ち」です。この記事には、日本チームは海外のメディアやファンから「規律・秩序・敬意の模範」として評価されていると書かれていました。日本人としてとても嬉しいですし、試合には負けてしまったけれど、日本チームは「思いやりと感謝の気持ち」では世界一だと誇りに思います。
そして、利根小学校のみんなにも、日本チームのような「思いやりと感謝の気持ち」を表現できる、かっこいい人になってもらいたいなぁと強く思いました。
4月から目指している「笑顔とやさしさが溢れる利根小学校」を実現するために、9月からはぜひ、日本チームをお手本にして、3つのことに全力で取り組んで欲しいと思います。その3つは、「あいさつ」と「ありがとう」と「そうじ」です。思いやりと感謝の気持ちを忘れない利根小の皆さんなら、きっとできるはずです。そして日本チームのように、利根小の皆さんが、地域の方々から評価される誇らしい学校になることを心から望んでいます。がんばりましょう。

夏休み明け全校集会の様子【9月1日】



1校時に全校集会が行われました。教室から体育館に集まる様子や集会が始まる前など、先生方から注意を受けることなく、落ち着いて静かに行動することができました。

代表児童による発表、表彰、校長先生の話をしっかりした態度で聞くことができました。



9月の予定

1日(火)夏休み明け全校集会、14:30下校
2日(水)14:50下校、発育測定1-2
3日(木)5年水泳学習、14:30下校
4日(金)発育測定1-1、2-1
7日(月)発育測定6-1、6-2、3-1、3-2
8日(火)5年水泳学習
9日(水)オレンジサミット(6年)
発育測定4-1、4-2
10日(木)5年水泳学習
14日(月)発育測定5-2
15日(火)2年水泳学習、発育測定5-1
16日(水)避難訓練
17日(木)2年水泳学習
24日(金)2年水泳学習
29日(火)5年福祉体験